

令和元年12月11日 環境生活委員会開催状況 (環境生活部)

開催年月日 令和元年12月11日(水)
 質問者 日本共産党 真下 紀子 委員
 答弁者 環境生活部長 築地原 康志
 スポーツ局長 若原 匡
 オリンピック・パラリンピック連携課長 本田 晃

質問要旨	答弁要旨
<p>一 東京パラリンピックの聖火及び採火について 私は、東京パラリンピックの聖火リレーの採火、火を採る採火についてお聞きをいたします。</p> <p>(一) 東京パラリンピックにおける聖火・採火の意義とコンセプトについて 組織委員会は、11月22日に、採火・出立の実施場所、聖火リレールート概要、聖火ランナー募集概要を発表しています。 聖火リレーは東京、千葉、埼玉、静岡の4都県のみで行われることになるわけですが、聖火に灯す火は、全国47都道府県で採火したものが使われることとなっております。聖火リレーを実施する4都県以外の43の道府県では、8月13日から17日に、採火・出立を行うということでもあります。 全国各地で採火された火は、ストックマンデビルの採火とあわせて一つにまとめられるとのことですが、聖火・採火の意義とコンセプトをどのように考えていらっしゃるのかまず伺います。</p> <p>「あなたは、きっと、誰かの光だ。」と。あなたというのは、アスリートの方達だけではなく、障がいをもった方、全ての事だというふうに思うのです。そうした中で、共生社会を作っていく、多様性を認め合う社会を作っていくということになるんだということをコンセプトになっているんだというふうに思うわけです。</p> <p>(二) 意向調査の実施状況と決定時期について そうした中で、採火の場所や方法というのは本当に自由度が高いというふうに聞いております。そして、都道府県にそれはまかせられているわけです。15の県では県内の全市町村でこの採火を行うと聞いておりますが、道は、採火について現在、意向調査を行っていると承知しております。これでも、いつの時点でね、組織委員会からどのような動きがあったのでしょうか。あの、北海道は、札幌市で実施をするということだけがこの概要には入っていました。どうして、他の15県で全市町村で取り組むことができるのに、北海道では札幌市ということになっているのか私は非常に不思議に思ったわけです。今になって、採火について、現在意向調査を行っているというふうに承知をしているわけですが、この問い合わせといいますか、組織委員会からですね、いつの時点でどのような動きがあったのか、道の意向調査の実施状況というのはどのようになっているのか。また、いつまでに実施場所を決定するのかお聞きをしたいと思います。</p> <p>(二) (再質) 意向調査の実施状況と決定時期について</p>	<p>(オリンピック・パラリンピック連携室長) 聖火リレーについてであります。東京2020パラリンピックの聖火リレーは、「Share Your Light / あなたは、きっと、誰かの光だ。」をコンセプトとしており、社会の中で誰かの希望や支えとなっている人などを「光」に例え、聖火リレーを通じて、多様な光が集まり、出会うことで、共生社会を照らす力とするという想いを表現しているものであります。 また、聖火リレーについては、オリンピック終了からパラリンピック開幕までの期間においても、オリンピックの熱気や興奮を持続させ、来るパラリンピックへの関心や開催を祝う機運を高めるために、できるだけ多くの方々に参加いただき、一人ひとりが、互いの価値や輝きを認め合う共生社会の実現を目指す契機となるように行われるものであります。</p> <p>(オリンピック・パラリンピック連携室長) 採火の意向調査などについてであります。本年2月に大会組織委員会から示されましたパラリンピック聖火リレー基本計画におきまして、東京都と競技開催県を除く43道府県では、聖火の元となる火を採る「採火」と、その火を東京へ送り出す「出立」などを任意で実施できるとされ、道では、8月13日から17日までの5日間という限られた期間と、本道の広大さなどを考慮いたしまして、採火と出立のあり方などを検討してきたところであります。 先月22日に、組織委員会から、決定前の途中段階といたしまして、札幌市を含む全国の採火・出立場所などが発表され、道内の一部市町村から、採火実施の意向を受けましたことから、現在、全市町村に対し、意向調査を行っております。道では、来年1月末までに、安全・確実な実施の可否などを踏まえまして、道内の採火場所を決定した上で、組織委員会へ報告し、来年3月に、組織委員会から、正式に決定・公表される予定となっております。</p> <p>(オリンピック・パラリンピック連携室長) 意向調査についてであります。組織委員会の基本</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>これを聞いて、驚いたんですけどね。今年の2月に大会組織委員会から基本計画について連絡があったと。道は承知していたわけですよ。今やっている意向調査は、その後の組織委員会からの発表で、どこがどのように実施をするのか見えてきたという段階で、市町村から問い合わせがあって初めて意向調査を踏み出すというふうな対応に変わったわけですけども、この2月から11月の間に、もし市町村がわかっていたらですね、いろんなことが考えられたし、限られた8月13日から17日までの実施についても、いろんな年度が変わる前ですから、日程についても変更したり調整したりする時間が十分にあったと思うのです。2月にわかった時点でですね、道の方は市町村に知らせていたのですか。</p> <p>(二) (再々質) 意向調査の実施状況と決定時期について</p> <p>それがね、先ほど室長が答弁されたパラリンピックの採火の意義とコンセプトに鑑みるとね、違うんじゃないかと思うわけですよ。札幌を中心だというふうに捉えざるを得ないと思うんですけど、北海道の広大さ、それから離島がある、そういう中で行政組織としてはね、振興局もあるわけですよ、そういう地方の声や地方に住んでいる人達の心をくんで行政ができるよということによってそういう組織があるわけです。だから、逆に言えば、広大な北海道だからこそ、広大な地域の様々なところから採火という方法で障害をもった方達がパラリンピックに関与していく、応援をしたり、いろんな想いを込めて、火に込めてですね、集めていくというこの特別な意味を持った採火に自分が参加できるという絶好のチャンスだったわけですよ。それをやっぱり汲み取って、集めて届けていくっていうのがこの採火の聖火リレーに繋げていく重要な意味を持っていたんじゃないかと思うんですけども、私はこの件での道の対応というのは反省すべきではないかと思えますけどいかがでしょうか。</p> <p>私は皆さんにだけ責任を押しつけようとは思わないです。責任はあるんですけどね。私自身もやっぱりこのことを聞いて、調べて、初めてこれはせっかく行われるパラリンピックを成功させるためにね、私自身も想いが至っていなかったなということ強く感じたものですから、だから部のほうもね、そういう想いで仕切り直しをしてね、過去のことは戻れませんので、仕切り直しをして、これをなんとか北海道として成功させていく、その道にやっぱり方向転換していかないといけないんじゃないかと思うんですよ。それで今日をいい機会にしたいと思うわけです。</p> <p>(三) 採火方法などについて</p> <p>パラスポーツの取組が非常に先進的に進んでいると言われて旭川市では、実はちょうどこの限定された時期に花火大会があるんです。例えば、そうした花火大会での採火とかも可能になってくるわけですよ。地域のおまつりやイベントの開催と合わせて実施を希望している町もあるというふうに聞いております。今も関心が寄せられています。</p> <p>具体的な採火方法というのは、先ほども言いましたように非常に自由度が高くて、どのような採火方法で</p>	<p>計画におきましては、基本的に、都道府県が主体となって実施することとされておりまして、8月13日から17日までの5日間という限られた期間と本道の広大さなどから、地域で採火し、集火することの確実性などを考慮いたしまして、採火から出立までを1か所で行うことと検討していたところであります。</p> <p>(スポーツ局長)</p> <p>聖火リレーの意向調査についてでございますが、組織委員会から示されております基本計画の趣旨に沿いまして、思いを巡らせるべきと考えております。ただいま、一部市町村から意向を確認したところでございましてですね、市町村の意向を踏まえた聖火リレーをですね、実施すべく私どもで調整いたしまして組織委員会に報告してまいりたいと考えております。</p> <p>(オリンピック・パラリンピック連携室長)</p> <p>採火方法などについてであります。組織委員会の基本計画では、採火は、各都道府県ごとに独自の方法で行うことができまして、火打ち石や太陽光、マッチ、ライターなど、火のおこし方に制限はなく、伝統的な火祭りの火や、各地で行われる送り火を活用した採火のほか、各地の名所での火おこしによる採火なども例として挙げられているところであります。</p> <p>採火式の実施に当たっては、観客と出演者の安全を確保できる場所であり、観客が観覧しやすく、火を扱</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>もいわけですね。団体などが採火して、そこを市町村が選ぶということも可能なようですし、採火方法というのはどのようになっているのか、伺いたいと思います。</p> <p>あわせて、検討・決定過程での留意点などがあれば、あわせてお示していただきたいと思います。</p> <p>(三) (再質) 採火方法などについて</p> <p>非常に自由度の高い、そして多様な方法で採火ができるということであれば、どこの市町村でも取り組みが可能だったのではないかと考えるわけです。ところが、その締切がですね、行政手続きとして12月20日頃を予定していて1月というように聞いておりますけどね、そうすると、行政上市町村が責任をもってやっていることとなりますので、日数が足りないんじゃないかと思うんですね。そこで、やはりこうしたことがわかった段階で、ここは先ほど言ったように仕切り直しということなので、道としてもその意向を受け止めることに対して、キチキチとしない、キチッとほしているんですけども、対応として柔軟に対応して、できるだけ多くのところが8月の実施ができるように取り組んでいったらどうでしょうか。どうですか。</p> <p>道がね、仕切り直しで頑張るとのことなので、その方向で頑張っていきたい、一緒に力を合わせていきたいと思います。</p> <p>(四) 障害、障害者スポーツへの理解と道の取り組み姿勢について</p> <p>集火、出立などの調整・実施は、道が役割を果たすことになるわけです</p> <p>実施市町村にとっても、パラリンピックへの機運醸成と併せて、障がいと障がい者スポーツへの理解による社会的バリアフリー化とともに、地域振興にもつながるのではないかと、そこに役割を果たすということを期待するものです。</p> <p>道として、どのように今後尽力していくのか、意気込みも含めてですね、今せっかく仕切り直したわけですから、その意気込みも含めて、道の取り組み姿勢というのを部長に伺いたいと思います。</p> <p>札幌市で実施されるオリンピック3競技の感動や熱気を持続させる役割も担うと繰り返されているんですけどね、パラとオリンピックは主従の関係ではないわけですね。たしかにパラに対する注目度というのはオリンピックに比べて低いかもしれないですが、パラはパラとして独立したものとしてですね、しっかりこれを据えるということが一番大事だというふうに思います。</p>	<p>うことができ、バリアフリー対応の会場であることが条件とされているところであります。</p> <p>また、パラリンピックパートナーの権利、ブランド保護の観点にも留意する必要があるとされておりあります。</p> <p>(オリンピック・パラリンピック連携室長)</p> <p>意向調査についてであります。現在、全道の市町村を対象に行っております意向調査については、その期日を2段階に設定しておりまして、12月20日までに意向を確認しまして、採火方法などの具体的な実施方法については、1月14日を期限としているところであります。</p> <p>既に、いくつかの申し出をいただいているところでありまして、できる限り多くの市町村に参加いただけるよう、問い合わせ等にも適切に対応してまいります。</p> <p>(環境生活部長)</p> <p>障がい者スポーツの推進に向けた取組についてでございますが、さまざまな障がいのあるトップアスリートたちが限界に挑むパラリンピックは、多様性を認め、誰もが個性や能力を發揮し活躍できる公正な機会が与えられている場であり、共生社会を目指し、そのあり方を示す、大変重要な大会であると認識をいたしております。</p> <p>パラリンピック聖火リレーは、こうした、お互いの個性や価値を認め合う共生社会の実現に繋がるパラリンピックへの理解や関心を高める重要な役割を持つとともに、本道では、札幌市で実施をされますオリンピックのサッカー・マラソン・競歩の3競技の感動や熱気をパラリンピックまで持続させる役割も担うものと考えているところでございます。</p> <p>道といたしましては、パラリンピック聖火リレーに向けまして、多くの市町村で採火を実施していただくことによって、障がい者スポーツに、「する・みる・ささえる」といった、さまざまな形で、参画する機運の醸成に努めまして、障がいのある方もない方も、スポーツを通じて、社会に参加をし、支え合う、共生社会の実現に向け、積極的に取り組んでまいります。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>私あの、当事者の方からですね、お声をいただきました。私自身も考えを改めたものですからちょっと紹介させていただきたいのですけれども、道内のパラスポーツを頑張っている町、パラ聖火・採火の意味をどう捉えていたのかというふうに道に対して問いかけがありました。</p> <p>多様性や共生社会を大事にし、どんな田舎の札幌に行けない重度の障害者でも参加して想いを火に込め、東京に繋ぐことに意味があります。動きたくても動けない障がい者のことをどう考えているのか、奥尻や利尻の想いを東京に届けたい。こういう想いを伝えていただいて、私もそれに胸を熱くして今回の質問にしたわけですが、やっぱりそうした想いをしっかりと汲み取ってですね、皆さんと一緒に成功に向けて頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。</p>	